

第十五回 (10月10日) 次回以降の授業内容アンケートを含むもの

() 月 () 日

<今日のふりかえり>

1. 九月からの授業で、<1>～<16>のテーマにふれてきました。プリントをふり返ってみて、特に印象の強かったもの、もう少し詳しく知りたいと感じるものの番号を書いてください。多数の意見が集まったテーマを優先的に二学期で扱います。
(ひとつとは限りません)

2. 今日のテーマのうちでもっと詳しくやるとすれば、どれを希望しますか。
ひとつ以上、理由をつけて、書きましょう。

3. 今日の授業で、印象に残ったことや深く考えたことを書きましょう。

4. 自分が、能動的に参加して考えることができたでしょうか？ 良かったところ、悪かったところは、どういうところでしたか。 自己分析・評価しましょう。

自己採点：____点 (10点満点で)

理由：

5. 今回の授業の、テーマ選び・展開のしかたなどで、問題点があるとすれば、どういふところでしょうか。 分析・評価しましょう。

授業採点：____点 (10点満点で)

理由：

10月10日

1. 九月からの授業で、＜1＞～＜16＞のテーマにふれてきました。プリントをふり返ってみて、特に印象の強かったもの、もう少し詳しく知りたいと感じるものの番号を書いてください。多数の意見が集まったテーマを優先的に二学期で扱います。

(ひとつとは限りません)

- ・ (11)
- ・ 8) 9)
- ・ 15) 16)
- ・ 6) 7) 8) 9)
- ・ 戦争について
- ・ 3)
- ・ 15) 16)
- ・ 7) 8) 11) 15)

2. 今日のテーマのうちでもっと詳しくやるとすれば、どれを希望しますか。

ひとつ以上、理由をつけて、書きましょう。

- ・ (15) 国によって色々ちがうから、いろんなことを知ってみたい。
- ・ 14) 15) どうして、そのようになるのか知りたいと思ったから。
- ・ 15) どういった国で起こっているのかなどもう少し詳しく知りたいと思ったからです。
- ・ 14) なんで人々に貧富の差が出るのか知りたいから。
- ・ 14) 100人の中であてはまらなかった人はどうやって勉強しているのだろうと思ったから。
- ・ 今日の死に方が印象的でした1
- ・ 15番の逮捕の理由に驚いた。
- ・ 「文字が読めないと何が出来ないか」何もできないと思うから読めない人はどうしているのか知りたい。
- ・ 16) そういうことが起こっている国の現状をもっと知りたい。
- ・ 15) やっぱ日本の常識とずれているものがあるなど、こんなことで逮捕されるのはイヤです。

3. 今日の授業で、印象に残ったことや深く考えたことを書きましょう。

- ・ 他の国などでは、自分では予想もつかないようなことで逮捕されてしまうことがあるのだと思った。
- ・ 色々な理由で逮捕されちゃうことがわかりました。もしも自分が・・・と思うと怖いことだらけです。
- ・ 自由は、かぎりなく少ないんだなと思いました。
- ・ 私達はいい環境で生活しているんだと思った。文字が読めないなんて考えたことなかったから、読めない人はすごく大変だと思った。

・死ぬことです。自分が本当に殺されるようになったら、死ぬって言う勇気もないし、どっちかっていえば我慢して生きていたいけど、なんとも微妙な脅迫が多かった。

・100人単位だとわかりやすい。

・最後にやった「死に方」とか考えるのが嫌だった。死にたくないし、考えたくなかったし・・・ 他人に殺されるのは嫌だなあと考えた。

・100人のうち20人が殺害や拷問におびえていることがとても印象強かった。

・友達6人と夕食を食べるだけで捕まるなんて、興味深いけど嫌です。

4. 自分が、能動的に参加して考えることができたでしょうか？ 良かったところ、悪かったところは、どういうところでしたか。 自己分析・評価しましょう。

自己採点：___点（10点満点で）

理由：

・（10）ちゃんとやった。

・（8）考えが言えたから。

・（10）難しかったけれど、自分の意見をはっきりと言うことが出来ました。

・（8）真面目に学習できました。

・（8）人は自分がこうやっ死にたいとは思っても、殺されたり、すごく悲しい死に方で一生を終える人も少なくない。世の中に戦争とか殺人とかあるかぎり、平和で心を豊かにして死ぬことはできないのかなあ。

・（10）いつもより多くメモをした。

・（4）寝た。最後らへん考えた。

・（5）途中参加だったので。

・（10）今日もよくがんばりました。意見たくさん出したし。

5. 今回の授業の、テーマ選び・展開のしかたなどで、問題点があるとすれば、どういふところでしょうか。 分析・評価しましょう。

授業採点：___点（10点満点で）

理由：

・（9）

・（10）色々と今、他の国がどういう状況なのかが知れて、勉強になりました。

・（9）

・（8）砂漠に連れて行かれるのはもう死んだと同じだと思った。

・（10）流れがスムーズだったと思う。

・（8）本を使うのが良い。

・（8）

・（9）今日は結構おもしろかった。

第12～15回の、授業者ふりかえり：

「世界がもし100人の村だったら」は、ちょうどこのころ話題になった本で、生徒も（全員ではないが）知っていたし、実際に内容がとても興味深かったので、使ってみることにした。最初は、2回の授業で終わるつもりだったのだが、予想外に時間がかかり、いっしょうけんめいやっても4回かかってしまった。

この授業をおこなった時点では出版から間もなかったもので、全体の項目に番号をつけて前半と後半に分けたり、それぞれの項目に設問をつけていったのも、自己流だった。その後、あちこちでこの本を使った報告が見られるようになり、それぞれ工夫が見られて興味深い。インターネットや開発教育協会の本などで、参考になるものが少なくない。

自分の授業では、生徒たちに各項目の人数比を予測させ、それを言わせては即座に電卓で計算して、それを本の記述と比較するという手順を入れていた。これなどは、参加意識の低い生徒も否応なしに関わらせる教員の技術であり、元から意欲の高い集まりだと不要かもしれない。ただし、ものによっては、ひとつの項目に、15%と言った生徒のとなりは50%と予測していたりすることがあるので、驚きもありおもしろかった。

各項目につけた問いは、良かったもの・良くなかったもの、さまざまであった。教員の説明を受け取ることが中心になって、考える余地が少なくなってしまうものは、やはり飽きられてしまう。顔を見ていても、生徒が内部で活性化している様子が感じられない。ただ、そういうほうが、淡々と進めてしまうにはやりやすくもあるので、「教員自身に都合のいい授業」に流れてしまう危険はいつもついてまわるといふことだろう。

二学期の最初にこの本を使うことは、世界のさまざまな問題を概略的に知るという土台作りにしようという意図であった。これは、一学期で考えてきたことを生かして諸問題を見るという発展でもあり、この先に、個別の問題とひとつずつ取り組んでいくための準備でもあった。ほかの意図であれば、違った使い方になるだろう。無理をして本全体を利用する必要もないだろうし、まだまだこの本には可能性がたくさん眠っているように思われる。

第十六回 10月17日

十二～十五回でざっと扱った各項目について、生徒にアンケートをとり、票の集まったものを二学期の授業で取り上げていくことにしていた。以下がその結果である。

絵本「世界がもし100人の村だったら」

- <1>男女比
- <2>子ども、大人、老人の人口
- <3>異性愛と同性愛
- <4>人種
- <5>地域別人口
- <6>宗教
- <7>使用言語
- ・・・・・・8からは、人間の行為によってできた差
- <8>飢餓・栄養
- <9>財産のかたより
- <10>エネルギーの使用
- <11>保険・衛生
- <12、13>貯蓄・私有物
- <14>教育
- <15>自由・人権
- <16>安全・平和

これらのうちから、関心があるものとして挙げられた回数は、多い順から、

- 8票 <15>
- 6票 <11>
- 5票 <6>、<14>、<16>
- 4票 <7>
- 3票 <8>、<9>
- 2票 <3>、<12、13>
- 1票 <10>
- 0票 <1>、<2>、<4>、<5>

この結果に基づいて、5票以上のものを中心に展開していくことにする。

今回（第十六回）は、「識字」をテーマとする。

「識字」

今、アフガニスタンでは、読み書きのできる人は3割しかいない。自分の名前がわからない人が10人に7人。今日は、文字や数字が読めるときと読めないときで、どう違うかを体験してみる。目標は難しいが、ひとりひとりが実感できるように計画を立てる。

数字

1) 最初に、カードに書いたベンガル数字の4を見せる。次に、7を見せる。そして、「このふたつを足したら、いくつですか。」と尋ねる。

ベンガル数字の4は、「8」にそっくり、7は「9」にそっくり。つまり、上記の答えは11なのだが、ふだんのアラビア数字と勘違いすると17になる。

4と7をとばして書いた表を黒板に貼って、それに当てはめてみる。

数字が読めないと、簡単なことも分からないことに気づく。

2) 今度は、実際に数字を書いてみる。

三人一組。

真ん中の人、付箋紙と筆記具、数字の表（何語かは不明）を持つ。他には見せない。

左側の人、自分の持ち物で、値段の高そうな品をひとつ、選ぶ。真ん中の人、その値段を決めて付箋紙に書き、貼り付ける。声では言わない。

左側の人、自分の品を、真ん中の人がつけた値段（もちろん読めない）で、右側の人を買うかどうか決断する。

お金の単位は、円としておく。

০ ১ ২ ৩ ৪ ৫ ৬ ৭ ৮ ৯ ベンガル語

٠ ١ ٢ ٣ ٤ ٥ ٦ ٧ ٨ ٩ アラビア語

០ ១ ២ ៣ ៤ ៥ ៦ ៧ ៨ ៩ クメール語
(カンボジア)

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 <読み方>
১৭ ডাই তে-ন জে- পা-ত জাই শে-ত আ ১৫ ベンガル語

لوس مائت اثنى عشر الف مائة ستة سبعة ثمانية تسعة アラビア語

son muoi pi: bai buon pram pram pram pram pram pram クメール語
muoi pi: bai buon

買う、と決断した人は、手を挙げる。

その人たちに、どうしてそう決めたか、付箋紙にはいくらくらいと書いてありそうか、言ってもらおう。

その後、持ち主に、その値段で売っていいと思ったら、握手してもらおう。

握ったままで、端の組から順に、真ん中の人を書いた金額を言う。

握手していたら、持ち主は、得したと思ったら座る。持ち主が座らなかつたら、買い手が座る。握手していなかつたら、得しなかつた方が立つ。

敗者（立っている人）に、今の気持ちを話してもらおう。

数字の読み書きができないと、不便・不安なことを感じてもらう。

3) 次には、声を使って、買うかどうかを決めてもらう。

ここまで、わざと数字の読み方は、言わないでおく。

「米を（ ）和、（ ）効で売るよ！」と黒板に書く。（ ）のところは、ベンガル語で言う。（アト）和、（ドシュ）効、のように。

これで、買う人、買わない人、判断してもらおう。その後で、

質問「これ、持って帰れるでしょうか？ 重すぎませんか？」「何日分、買いました？」

いったん、表を見ながら、音読する。それで、（ ）の数字がわかる。

わかるまでに考えたことを、言ってもらおう。

言葉がわからない不便・不安を経験する。

文字

4) 全員に、立ってもらおう。

三本のピンに、文字と数字が貼ってある。（別の言語の文字で）

文字の札を見せて、「発展途上国では、下痢による脱水症状が、子どもの死因のかなりを占めています。さて、あなたの子供が下痢だとします。どれかが薬なのですけど、どのピンを選びますか？」

間違えた人は、座る。

今度は、裏にして、数字を見せる。

「さて、これは数字なんです、どれだけ飲ませましょうか？ 錠剤を飲ませる数の指を出してください。」指を見て、あっている人だけ残して座らせる。

「子どもを健康に育てられたのは、今立っている人だけです。後の人は、直せなかったわけです。」

字が読めないせいで、薬の種類や量を間違えて、子どもや弟・妹を死なせてしまうことは、



ラベルが読めないピンを選ぶ

とても多い。実際に、農村では殺虫剤など農薬を飲ませてしまう事故が多く起きている。特に座ってしまった人は、どんな気持ちになるか、考えてもらう。幾人かに簡潔に話してもらう。

5) 次は、ちょっと別のことをやってみようと言って、路線図を出す。

ひとり一枚ずつ、行き先の駅名カードを渡す。

「今、持っているカードの駅で、待ち合わせです。正しく行けますか？ いくらかかるでしょう？ 計算してみてください。」

カードは、三通り作る。(通し番号を振って、3で割って余りが同じになる番号のものを同じ駅名・料金にしておくと、後でわかりやすいはず)

端から3～4人に、いくらだと思うか尋ねる。そこで出た数字の人で、集まってもらう。わからない人、という場所も一カ所作しておく。

それぞれ集まったところで、同一グループの人同士でカードを見てもらい、同じカード・同じ料金であることを確認する。

それぞれ、どんな気持ちだったか、話してもらう。特に、わからなかった人と、間違えた人に。

文字が読めないと、不便であることとともに、とても不安だということを感じてもらう。そして、自信が持てないということにも。したがって、文字を学ぶことは、便利さとともに自信を持つことでもあることを知る。

日本にも、文字が読めない人は存在する。難民を含めて、今体験したような不安の中で暮らしている人たちがかなりの人数いることを考える。

(そのような人の話を、紹介する)

文字が読めることの、教育的な意味を考える。

記録がつけられる。(時間枠が広がる)

遠くへ行き来できる。(空間が広がる)

詳しい文字情報を得られる。(知識)

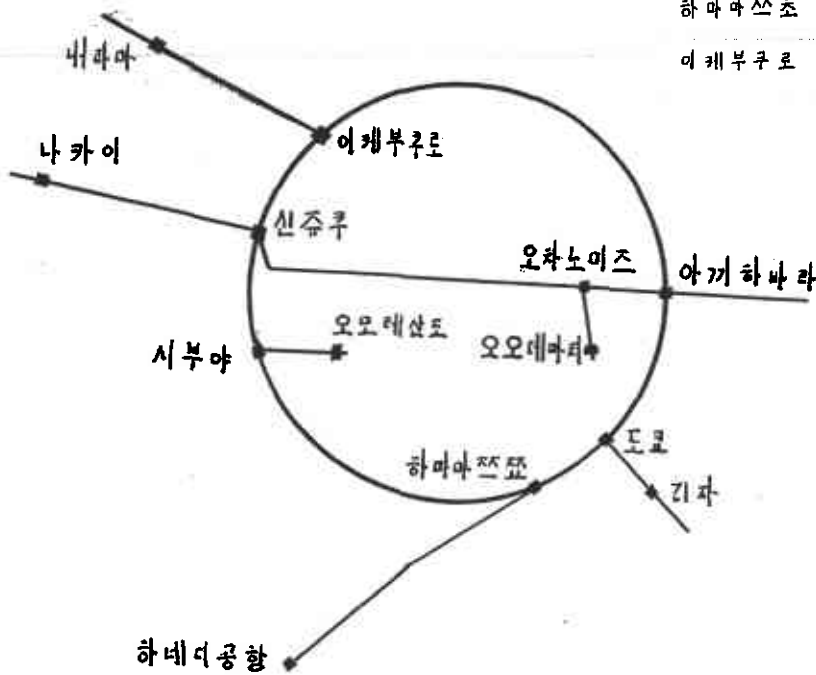
それらをによって、例えば以下のようなことができるようになる。

- ・ 仕事
- ・ 貯蓄
- ・ 自信が持てる



自分の持っているハングル文字の切符と、やはりハングル文字の山手線路線図を見比べて、乗り換えと料金とを考えている。

이케부쿠로	~	시부야	160
신주쿠	~	오차노미즈	160
하마쓰초	~	도쿄	150
오차노미즈	~	오모테마치	160
도쿄	~	긴자	160
시부야	~	오모테산도	160
신주쿠	~	나카이	140
하마쓰초	~	하네다공항	470
이케부쿠로	~	네리마	170



(配布プリント)

「文字が読めないということは・・・」

2002年10月17日

(1) 数字や文字が読めないために、どんな不便なことが起きるでしょうか。

(2) 授業の体験を通して、読めない文字を扱っているときにどんな気持ちになりましたか。“気持ち”について、なるべく細かく書きましょう。

(3) ビデオを見て、感じたこと・考えたことを、書いてください。

(4)

ア) 日本に住んでいる、日本語が読めない人たちと、知り合いでしょうか？

日本語の文字が読めない人たちの苦勞について、考えたことはありましたか？

イ) 自分自身に、何かできそうなことはあるでしょうか？ 考えて書いてみましょう。

(5) その他、今日の授業で感じたこと・考えたことを、たくさん書いてください。

(6) 自分が、能動的に参加して考えることができたでしょうか？ 良かったところ、悪かったところは、どういうところでしたか。 自己分析・評価しましょう。

自己採点：____点（10点満点で）

理由：

(7) 今回の授業の、テーマ選び・展開のしかたなどで、問題点があるとすれば、どういうところでしょうか。 分析・評価しましょう。

授業採点：____点（10点満点で）

理由：

<生徒のコメント>

(1) 数字や文字が読めないために、どんな不便なことが起きるでしょうか。

- ・薬の種類や量がわからない。
- ・電車での駅がわからない。
- ・料金が読めなかったりして移動の際に不便。
- ・交通に不便。一刻を争うときに大変。薬がわからない。
- ・物が正確に買うことができない。薬なんかは特にまちがえられない。
- ・物がほしくても、コレは何かとかわからないし、いくらかもわからない。
- ・自分の考えていることを伝える手段がなくなる。誤って情報をえてしまう。
- ・自分の行きたいところにいけない。満足に買い物もできない。
- ・本、新聞などが読めない。
- ・交通機関を利用するとき、目的地、料金などわからない。
- ・薬、食料など、それが何なのか分からない。
- ・薬とかちがうやつをのんだりして大変なことになる。

(2) 授業の体験を通して、読めない文字を扱っているときにどんな気持ちになりましたか。“気持ち”について、なるべく細かく書きましょう。

- ・イライラした。字が読めないことに腹が立つ。
- ・生活するのに文字が読めないと困るところか、生活できないような気がしたので、文字が読める環境に育つことができてとても嬉しく思いました。
- ・もどかしい気持ち。不思議な感覚。分からないからイライラ。
- ・正確なことがわからない。
- ・何がなんだかわからないという感じ。薬のことだけどひとつまちがえれば命をも落としかねない。大変なことだと思った。
- ・今日は初めて見た字だったし、知っている人もいるから、ちょっと楽しい気がしたけど、外国で1人でいると、買い物するにも移動するにもこわくてできないと思う。
- ・とても不安なかんじでした。幼いころによく感じた気持ちに似ていました。
- ・自分の思い通りにいかないのでイライラしたり、くやしい気持ちになったりと悲しくなりました。普通はできるのに・・・と思っていたんだけど、それは違うんだな、と感じました。
- ・文字は、習わなければ、読むことができないものだと思うので、文字が読めない体験ができて、今、あたりまえのように呼んでいる文字の大切さが分かった。
- ・いつもはふつうに読めるけどほかの国のことばで全然わかんないからイライラした。

(3) ビデオを見て、感じたこと・考えたことを、書いてください。

- ・字を学ばせたり、衛生面を考えたりと、子供が死ににくい環境になりつつあるが、世界の人口増加も考えなくてはいけない気がする。
- ・ああいう国に生まれなくてよかったと思いました。
- ・日本は義務教育があつて幸せだと思った。
- ・日本語で書いてあれば楽に読めるのと思った。
- ・勉強のための教材があまり普及していない所では勉強するとはすばらしいこと。私達はそれが当たり前になっているけど、本当に文字を知ることにも全て勉強しなければはじまらないと思った。
- ・字や数字がわからなくても勉強して、村をよくしていこうというのがすごいと思った。
- ・言葉が通じないと大変だ、と思いました。
- ・識字を一生懸命がんばっていることに心を打たれました。
- ・文字が読めないということで、様々な不便なことがあるのだとわかった。
- ・字がわかんない人におしえるのは大変だと思う。

(4)

ア) 日本に住んでいる、日本語が読めない人たちと、知り合いでしょうか？

日本語の文字が読めない人たちの苦勞について、考えたことはありましたか？

- ・いいえ。
- ・知り合いはないし、考えたことはない。
- ・知り合いではないし、読めて当たり前だと思ってた。
- ・駅で聞かれたときに大変そうだなあと思った。
- ・駅で切符を買おうとしている外国人を見ると大変だなと思う。
- ・ない。
- ・ありませんでした。
- ・そうゆう知り合いがいないので、読めない人たちについて考えたことはありませんでした。
- ・いいえ。
- ・考えたことない。

イ) 自分自身に、何かできそうなことはあるでしょうか？ 考えて書いてみましょう。

- ・字を教えてあげる。町であつたら道案内する。
- ・ボランティア活動。
- ・文字を教える。
- ・聞かれたら何度でも答えたりすること。
- ・自分にいろんな言葉が話せたら道案内でもなんでもできるのに。
- ・苦勞している人の気持ちになって物事を考えてあげたいです。

・文字を教えてあげたり、道でこまっている人達がいたら優しく教えてあげたいと思いました。

・自分からおしえることはできないけど聞かれたらおしえてあげたい。

(5) その他、今日の授業で感じたこと・考えたことを、たくさん書いてください。

・字が読めないことでこれほど苦勞するとは思わなかった。というか、字を読めない世界なんて考えたこともなかった。勉強の大切さを知った。

・もじって大切なんだと思いました。

・自分の分からない文字だと、全く無知な自分にイラつく。薬を買えなくて子供が死んでしまうなんて考えられない世界だったからなんかショックだった。

・文字の読めない人たちもみながんばってるなと思った。自分は小さいころから書けていたので、日本は豊かといわれるのはこのこともあると思った。

・逆に、文字は知らないと大変なことは今日実感したけどやっぱりいろんな語学を知ることが楽しいと思った。

・数字や文字というのは、字が読めたり書けたりしないと命が危ないという直接的ではないけど間接的にすごく関わっているんだと思った。切符でも、苦勞して、あれで数字も普段使っているものではなかったら、もっと苦勞しているんだと思った。

・世界中にはまだまだわからないことが多いんだな、と。文字が読めないとたくさん大変なことがあるんだなと思いました。

・今まで普通に読み書きしていたことができない人もいると聞いておどろきました。自分も今日体験してみて、その人達の気持ちも分かったので、文字を大切にしたいなと思いました。

・文字が読めないなんて考えたことがなかったから、すごく大変なんだな一と思った。

(6) 自分が、能動的に参加して考えることができたでしょうか？ 良かったところ、悪かったところは、どういうところでしたか。 自己分析・評価しましょう。

自己採点：___点（10点満点で）

理由：

・（8点）字の読めないことで駅の生き方が全然わからなかった。これじゃ外国に行けないな。

・（8）自分なりにまともにやってる気がした。

・（6）参加してた。眠かった。

・（10）理解したから。

・（10）薬についてはいろいろ考えることができた。あんまり医療が発達していない所ではふたとかのいろでだいたいわかりやすくしている。赤はけっこう薬が強い。

・（7）あまり体調がよくなかったので・・・

・（10）楽しく参加できました。

・（8）自分の考えが言えたのでよかったと思う。

・しっかりできた！！

(7) 今回の授業の、テーマ選び・展開のしかたなどで、問題点があるとすれば、どういうところでしょうか。 分析・評価しましょう。

授業採点：____点（10点満点で）

理由：

- ・（10点）よかった。意表をついたね。
- ・（8）おもしろかった。
- ・（8）実際に字が分からない感覚が味わえて良かった。もどかしくてもうやりたくないケド。
- ・（10）
- ・（8）
- ・（8）班分けがけっこう男女でまとまってしまった気が・・・
- ・（10）色々と勉強になって良かったです。
- ・（9）文字について考えることができて良かった。
- ・丸くなってやるのはやだ。

授業者のふりかえり：

第12～15回は、諸問題の概論だったので、じっと座っている授業になってしまった。今回からはテーマはひとつなので、参加型らしい(?)授業にしたかった。

識字というテーマは、年間の授業計画の中で、かなり重要な位置を占めていた。生徒に、何かを持たない苦しみ・哀しみを少しでも感じさせるのは、学校の教室という場では簡単なことではない。飢えや乾きは不可能だろうし、肉体的苦痛は倫理的にありえない。その中で、教育については、「読めない」ということの苦しみと哀しみをわずかながらでも体験できる。とても重要な日に違いないと自分では考えている。

生徒のコメントがいつもより長かったのは、おそらくは、それだけ考えるところが多かったのだろう。何度も立ったり座ったり歩いたりとずいぶん負荷をかけて、かなり疲れる授業をしたのだが、そんなことはあまり気にしていないようであった。

第十七回 10月31日

前回（17日）は、14番の教育問題の例として、識字をテーマにした。今回は、8番と9番の、所得問題をテーマに選んだ。開発教育協議会の教材「一杯のコーヒーから考える世界の貿易」を利用する。

（細かい設定などは、著作権の問題があるのでここでは記載しないが、生徒たちにあわせてワークシートなどは手を加えた）

参考：

第十二～十五回が終わった後、もっと詳しくやりたいテーマを尋ねたアンケート結果多かった順

8票 15番（安全・人権）

6票 11（保健・衛生）

5票 6（宗教），14（教育），16（平和）

4票 7（言語）

3票 8（食料），9（富の配分）

2票 3，12／13

1票 10

「一杯のコーヒーから考える世界の貿易」

（1）導入

コーヒーに関する、基礎的な知識を紹介する。

生のコーヒー豆、コーヒーロースター、農園の写真などを用意する。ここで、モノカルチャーに少し触れておく。

消費量：1位 USA 2ドイツ 3日本（年間ひとりあたり 300 杯）

生産量：1 ブラジル 2 コロンビア 3 インドネシア

話の中で、この授業の目的を簡単に紹介する。

- ・ 国際貿易と農民の暮らしに関係があることを感じながら、良い貿易、良い農業は、どういうものかを考えるきっかけにするゲーム。
- ・ 自然の影響や社会の構造が大きな影響を与えることを知る。
- ・ 貧しさが、本人のせいではないことを理解する。これは、なまけものだからというような認識でいる場合が珍しくないため。

(2) 教材「アロマ村のコーヒー農園」

1) 生徒を、グループ分けする。13人を、社員 a, b, c の3名と、農家 A (3人), B (3人), C (4人) に分ける。

2) シート1「設定」を音読する。要点は黒板に書く。

3) 農家にはシート2を、社員にはシート7を渡す。生徒が読んでいる間に黒板に表を描く。

表1

農家	一年目	二年目	三年目	四年目	計 (結果)
A	()	()	()	()	
B	()	()	()	()	
C	()	()	()	()	

()は、コーヒーの区画数

表2

社員	一年目	二年目	三年目	四年目	計 (結果)
a					
b					
c					

以下のように、言葉で説明する。

「農家 A, B, C の収入が、一年目から四年目までの間にどうなっていくでしょうか。

農家は、畑の10区画のうち、0～10の間でどのくらいをコーヒー栽培に転換するか、決めます。

社員は、よく説明して、なるべく多くの区画をコーヒー栽培にまわしてもらえるように努力しましょう。

交渉は、5分間です。終了の合図が鳴ったら、決定した区画数を黒板の表の()に書き入れましょう。」

4) 区画数を全農家を書いたところで、農家にはシート3「一年目」を配る。社員には「社員用 会計用紙 一年目」を配る。全員に計算させる。

(社員には、電卓がある方がいいだろう)

計算が終わったところで、二年目のコーヒー栽培の区画数を、交渉する。5分間。

5) 区画数を黒板に書いたところで、農家にも社員にも、二年目のカードを配る。
前の年と同様にすすめる。

6) 同様に、三年目。

7) 同様に、四年目。

四年目が終わったところで、過去四年間の通算の黒字・赤字を計算する。

8) 黒板の結果を見ながら、以下のふたつを考える。(記入用紙1)

- ・やっている中で、わいてきた感情を思い出して、書きましょう。
- ・やっている中で、抱いた疑問点を書きましょう。

しばらく時間をとってから、順番に言ってもらう。黒板にメモをとるのもいいだろう。

9) 最初のシート1「設定」をもう一度読み直す。その後に、以下のふたつを考える。

- ・(赤字の農家は、赤字にならないためには、どうすればよかったらうか。
- ・良い契約とはどういうものか。

教員の着眼点としては、

- ・かなりばらつきはあるが、多くの農家は赤字が増えていく。
- ・借金を返す手段は、簡単には見つからないだろう。
- ・社員が嘘をついたわけではない。
- ・農家が怠けたわけではない。
- ・国際相場や天候が、大きく影響している。(モノカルチャーの危険性)

授業者のふりかえり：

今回は、電卓で計算したり、相談して決断するなどがあるので、かなり不安だったにもかかわらず、生徒たちは予想外に熱心で盛り上がった。ただ、最初に「全部コーヒーにする」という選択をしてしまうと、その後にやる事がなくなってしまうので、そのあたりは多少誘導してしまうほうが、生徒もゲームを楽しめるだろう。

(配布プリント)

(記入用紙 1) 「一杯のコーヒーから考える世界の貿易」

質問 1

(1) やっている中で、わいてきた感情を思い出して書こう。

(2) やっている中で、抱いた疑問点を書こう。

質問 2

(1) 赤字の農家は、赤字にならないためには、どうすればよかっただろうか。

(2) 良い契約とはどういうものか。

<生徒のコメント>

質問1

(1) やっている中で、わいてきた感情を思い出して書こう。

- ・天候などによって、赤字の時や黒字の時があるので、契約するときは様々なことを考えなければいけないと思った。
- ・農家の人は大変だなーと思った。
- ・自分自身で特になるか損になるかを考えるので、スリルがあり、ワクワクドキドキしていました。
- ・どうなるか分からない状態で物事を考えなければいけないので、不安や期待などがあった。
- ・農家と社員で、苦勞の割には、最終的に手に入るお金に差があるな、と思いました。
- ・来年の気候とかは分からないから、難しい。
- ・あーあ、もっと考えればお金稼げたのに。豆を栽培するにはその年の天候などすべての変化（災害など）によって生産量もかわってきてしまう。
- ・全部コーヒーにしたから、途中で変えられないからコーヒー豆ができないと大変だと思った。
- ・確かにコーヒーの契約栽培は、いい話ではあったが、市場の関係もあり必ずしももうかるとはいえないので不安だった。

(2) やっている中で、抱いた疑問点を書こう。

- ・どうして農家が赤字の時、社員の金額が上がるのか疑問に思った。
- ・どちらも同じくらいの苦勞をしているのに、得られる金額が違いすぎると思いました。
- ・どうすれば、良い利益になるんだろう？
- ・会社の方がもうかってる？
- ・地力が下がるなら先言えよ！

質問2

(1) 赤字の農家は、赤字にならないためには、どうすればよかったですか。

- ・契約する区画を年度ごとにあまり大きく変えないようにする。
- ・10区画全部コーヒーにする。
- ・気候や需要と供給などもことも頭に入れて、無理のない計画を立てることだと思う。
- ・会社にとよりすぎないことが大切だと思います。
- ・最初から、よく考えて一定の土地でやればよかった。
- ・一区画あたりで今年はいくらになるのかは、はっきりはあくしておかなければなら

ない。

- ・全部コーヒーにする。
- ・ひかえめに。

(2) 良い契約とはどういうものか。

- ・契約する区画を半分ぐらいにする。
- ・無理をせず、計画的に物事を考えていき、赤字を出さない為にも社員の話に惑わされず、しっかりとした計画を持つ方がよい。簡単に契約をしない方がよい。
- ・お互いに公平な立場での取引ができると良い契約となると思いました。
- ・土地数を決めておく？
- ・両者が納得いくような契約。そしてお互いがちゃんとした利益を見込んで契約を結ぶこと。
- ・お互いにもうかるコト。
- ・農家、会社共に利益の出る契約。
- ・詳しく話してもらえ、自分もよく理解したうえでの契約。

1. 今日の授業で、印象に残ったことや深く考えたことを書きましょう。

- ・農家の人に利益が出ないときでも、会社側は、利益が出るということ。契約などのかけひきの難しさ。
- ・利益とか考えたことがなかったから、大変だなーと思った。
- ・今まで農家の立場になったことが無いので、農家の立場から社員の動きなどがわかり、イイ話だけをしてかんたんに契約をさせるんだと思いました。
- ・貧富の差が生まれる原因と、それはどうすればよいのか、など難しい問題はつきないと思いました。
- ・農家の人は、一生懸命働いているのに、気候や市場の関係で赤字になったりする危険があるのに対し、立場の強い企業は赤字の時でも利益が増えていたりして、立場の弱い人は、くやしいと思う。でも、やっている内に自分もそれが当たり前になっていたかもしれない。
- ・エスプレッソ社と農家との契約にはやっぱりそれを生産している人の方が会社よりかなりのマイナスを出すときがある。会社は赤字にならないように契約しなければよいが、農家は生活を支えるために必死です。しかし、天候に栽培は左右されるので（でも契約は必要）本当に大変なことだと思った。
- ・コーヒー会社の人の方が特をしているのがどうも納得いかなかった。農家の人たちがいくらがんばって働いても天候とかはどうにもならないものだからかわいそうだと思った。
- ・世の中うまい話ってのはないんだなと思った。
- ・目先のいい話に乗せられるといたいに会うことを知った。やはり生活のかかっていることだし、ひかえめにやるべきだったろう。一体どれだけの人がこのような失敗

をしたか気になる。実際、このクラスの人々は皆失敗をした。

2. 自分が、能動的に参加して考えることができたでしょうか？ 良かったところ、悪かったところは、どういうところでしたか。 自己分析・評価しましょう。

自己採点： ____点（10点満点で）

理由：

- ・（6点）もっと意見を言えれば良かったと思う。
- ・（10）ちゃんとできたと思う。
- ・（10）農民の立場になり、色々考えることができました。計画を立てて、赤字にならないようにするのが大変でした。
- ・（8）みんなで楽しくゲームをして、いろいろとなことがわかったことがすばらしかったと思いました。しかし計算が苦手な僕が社員役になったので、ハプニングが発生しました。
- ・（8）最初からちゃんと考えていれば良かった。
- ・（8）はじめはよくわからなかったけど楽しかった。私達はまだちょっとした企業との契約などを見たばかりだけとためになった。すべてのことを考えにいれなきゃいけないから。
- ・（10）考えてたし、ちゃんとプリント読んでたから。眠くもなかった。
- ・（10）自分なりにやる気をだして、真面目ににやっていたから。
- ・（10）今日は新たな発見をした。やはり変化は少しずつの方がいいと思う。悪かった点といえば、グラフの重要点に気づけなかったことか。

3. 今回の授業の、テーマ選び・展開のしかたなどで、問題点があるとすれば、どういうところでしょうか。 分析・評価しましょう。

授業採点： ____点（10点満点で）

理由：

- ・（10点）コーヒー農家をテーマにして、良かった。とても勉強になった。
- ・たのしかった。
- ・（10）色々な視点から考えることができました。
- ・（9）スタートダッシュが遅いのはいけんと思いました。
- ・（8）おもしろかった。
- ・（10）とてもおもしろくて、やりがいがあった。
- ・（10）楽しく深く授業ができた。

第十八回 11月7日

先週は、コーヒー栽培農家と、国際経済の関わりについて学んだ。今回は、前半で、日本で暮らす我々の身の回りにあるいろいろな輸入品について、広く考えてみる。後半には、年間の最終プロジェクト「よそ国」の説明と、各自の国カード引きをする。

教材は、神奈川国際交流協会が日本語版にした「世界からやってくる私たちの食べ物」を利用して始まり、途中からバナナの話に移っていく。

(1) 前回のふり取り

コーヒー農家の一軒一軒が、大きな国際情勢に振り回される状況を思い出す。

・気候 ・収穫量と貯蔵量 ・病害 など

似たようなことが多くの食料品にも見られることや、それが自分たちの日常にも密接に関わっていると感ずることが、目的となる。簡単に、この主旨を話しておく。

(2) 食品を調べる

1) グループを3つに分ける。真ん中に、世界地図を置く。

2) 3つのグループに、ひとつずつ買い物袋を渡す。それぞれに、食品を入れておく。

食品には、例えばフィリピン産とエクアドル産と台湾産のバナナなど、産地や値段が違ふ食べ物を混ぜておく。値段が印刷してあるものは、塗りつぶしておく。

また、食品の数だけ、記入チャートを渡す。

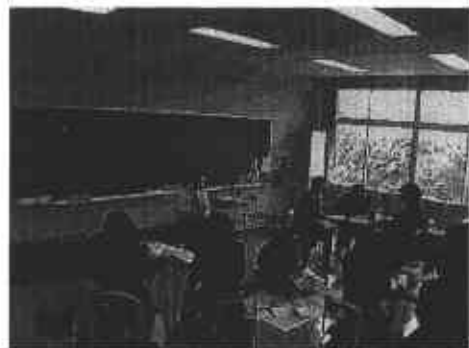
チャートの項目：・食品名 ・原産国 ・値段予想と、その正解欄

・その値段をどう感じるか (高い、ちょうどいい、安い)

各グループ、チャートの値段予想まで書き込んだら、バナナ以外の本当の購入値段を発表し、それを記入する。(バナナは、後で)

3) 地図の上に、食品とチャートを置いていく。

置くときには、チャートを読み上げる。



ここから、ふたつのことを考えていく。

A: バナナ以外について、「高い、ちょうどいい、安い」とその理由を考える

B: バナナについて、値段の違いの理由を考える

(3) A: バナナ以外について、「高い、ちょうどいい、安い」とその理由を考える

1) ひとり1枚、ワークシートAを配る。

- 項目： a,自分の印象で、もっとも「意外に高いな」と思った物と、その値段
b,自分の印象で、もっとも「意外に安いな」と思った物と、その値段
c, 上記 a,で、その品物が高くなる理由
d, 上記 b,で、その品物が安くなる理由
各自で記入していく。

2) 各自が高い物、安い物として選んだものをグループ内で回し読みする。

3) 全体に向かって、読み上げる。黒板に、「高い理由」「安い理由」それぞれのメモを取る。

(4) B:バナナについて、値段の違いの理由を考える

1) バナナの値段を発表する。大きな値段の差があることを、確認する。

2) ひとり1枚、ワークシートBを配る。

- 項目： a・バナナAの値段と、特徴
b・バナナBの値段と、特徴
c・バナナCの値段と、特徴
d・高いバナナの、値段の理由
e・安いバナナの、値段の理由
f・自分なら、どういう理由でどのバナナを買うか。

3) グループの中でワークシートを回し読みする。

4) 特徴の、発表。

5) 上記 f について、A, B, C,どれを選んだか、それぞれの数を確かめてから、その理由を発表していく。いろいろな理由でばらけていくと面白い。

(5) 最後に、買い物袋の品物を通して感じたこと、考えたことをふり返り、書く。

(6) 今日の前半のまとめ。

ふだんも書いている「今日のふり返り」の1～3番を、記入する。その間に、前年度の生徒たちが作った小冊子「よそ国」を回して読む。

使った食べ物



三種類の、バナナ



その他、九種類の食品



生徒たちの考えを、黒板にメモしていく。

授業者のふりかえり：

このころになると、生徒たちは、もう自分たちで考えることを楽しむ感覚を身につけてきていたように思われる。テーマと素材がはっきりしていれば、むしろ教員はじゃまをしないように、でしゃばりすぎないようにという意識が大切になる。

最終プロジェクト「よそ国」は、やはり、言葉で説明しただけではよくわからないらしく、コメントにも戸惑いが感じられる。

<生徒のコメント>

11月7日

1. 今日の授業で、印象に残ったことや深く考えたことを書きましょう。

- ・バナナ一本でも加工や製法で、これほど差が出るとは思わなかった。まあまずいバナナは無いに等しいので、変わるものではないだろう。
- ・意外と物の値段というのはわからないものなんだなと思った。
- ・値段を予想したりして、けっこうみんな買い物するんだな—と思った。今日はグループメンバーが良かった。
- ・色いろな国の食品が日本に入ってきてることがわかった。
- ・ミネラルウォーターが高い。
- ・国の遠い近いによってその送料もかかるので高くなったり低くなったりする。物を大量生産している所はやすくなることもある。
- ・アンチョビ 56g → 298 円は高い。
- ・同じ産地なのに製法やキャラクターの袋に入れて、手間をかけたものと、何もしないものとは 100 円位の差が出るという事。人気度でも値段があがる。今回キティちゃんのバナナを買う人は1人もいなかったけど、子供はとくにほしがると思う。(少ない量。) だから1本入りなのかな? と思った。
- ・自分達が無気なく食べているものにもいろいろなストーリーがあると思いました。
- ・バナナにも色々な製法と種類があることがわかった。日本は多くの国から輸入しているんだなあ—と思った。
- ・3種類のバナナ。
- ・同じ種類の物でも、様々な条件によって価格が大きく変わるということ。

2. 自分が、能動的に参加して考えることができたでしょうか? 良かったところ、悪かったところは、どういうところでしたか。 自己分析・評価しましょう。

自己採点: ____ 点 (10点満点で)

理由:

- ・(8点) 今日は女の子ばかりの班だったので、エンリョがちだった。
- ・(10) かなり真面目にやったから。
- ・(10) 考えて発言した。
- ・(10) 色いろと考えたから。
- ・(8) 能動的にできたと思う。大韓民国のラーメンはもっとやすくていいかなと思った。
- ・(8) 積極的に参加できたと思います。
- ・(10) 自分の思ったことを発言できました。バナナは大好きなので色々と考えてしまいました。
- ・ちゃんとできた。

- ・(9) 考えが言えた。

3. 今回の授業の、テーマ選び・展開のしかたなどで、問題点があるとすれば、どう
いうところでしょうか。 分析・評価しましょう。

授業採点：____点（10点満点で）

理由：

- ・(9点) いろいろな輸入品の値段とかも知れたし、なぜ高いか考えることもできた。
バナナうまかったし。
- ・(8) なかなかおもしろい。
- ・(9) おもしろかった。
- ・(10) おもしろかった！ バナナうまかった。
- ・アンチョビが賞味期限切れていた。
- ・(8) 特にありません。バナナおいしかったです。
- ・(10) バナナをもっと食べたかった（笑）。でも楽しく食品のことを学ぶことがで
きました。
- ・バナナは食べなくていいと思う。
- ・(10) 身近な物が題材になっていて面白かった。

4. プロジェクト

- ・大変そう。
- ・難しそう。というよりめんどくさそう。
- ・大変そう。PC使わなきゃって思った。
- ・やれるか心配・・・
- ・ネパールだったけどあんまり国的にしられていない所だからこのきに調べるといろ
いろな事がわかると思う。
- ・ちょっとおもしろそうだけど調べるのが大変そうだった。
- ・あんなの本当に書けるのかと思いました。
- ・南アフリカって・・・どんな国だろうと少し興味があります。
- ・めんどくさい。
- ・たくさん情報を集めたいと思った。

第十九回 11月14日

以下の項目を、オークション形式で、各自がほしいと思うものを競り落としていく。
・・・「価値観のオークション」（「地球市民を育む教育」を参考に）

活動：「価値観のオークション」

(1)

リストを配り、全部に目を通す。自分がほしいものを、三つ選んで印をつけておく。

リストの項目：

- (あ) スポーツ万能
- (い) 幸せな家族
- (う) 信じられる友人
- (え) リーダーシップ
- (お) 芸術的才能
- (か) 勉強好き
- (き) 健康
- (く) お金持ち
- (け) 学校の成績がいい
- (こ) 好きな職業を選べる
- (さ) 好きな所で暮らす
- (し) 容姿端麗
- (す) 立ち直りが早い
- (せ) 他の人を愛する
- (そ) 他の人から愛される
- (た) 大勢友人を作る
- (ち) 世界を少し平和にできる
- (つ) 家族に信頼される
- (て) 自分を好きになれる
- (と) 人前で上手に話せる

- (な) ただ働きさせられない
- (に) 家族と引き離されない
- (ぬ) 暴力をふるわれない
- (ね) 無実の罪をきせられない
- (の) 誘拐されない
- (は) 不公平な裁判をされない
- (ひ) 他の人より権利を減らされない
- (ふ) 意見を言っても危険でない
- (へ) 根拠のないデマを流されない



オークションの様子。

買う意志のある場合は手を挙げる。

- (ほ) 盗聴・盗撮されない
- (ま) 宗教・思想を強制されない
- (み) 病気等の際、放っておかれない
- (む) 飢えない
- (め) 教育の機会を奪われない
- (も) 遊ぶゆとりを奪われない
- (や) 暴力的に威されない

(2)

設定：各自の資金は 1000 両。値段は、10 両から始まる。

手を挙げて、前より高い値段をいっていく。続く人が 10 秒とだえたら、最後に値段を付けた人のものになる。ほしいものを落札できなかったら、新しいものにねらいを変える。

黒板にリストを貼っておき、競争者の人数と、落札者・値段をメモしておく。

(3)

共通点と、個々の違いの両方について、考える。

前半のリストは、個人的な能力など。後半は、世の中での権利。

A) 共通点：それぞれで、ほしいものとして高額までつり上がっていったものに着目し、それがなぜそうなったか、話しあう。

B) 相違点：少数意見、つまりひとりだけで安く買えたものに注目する。
それもまた、必要度が高い人がいることを確認する。

(4)

権利について、漠然と「たくさんあればあるほどよい」と捉えている人が多いが、実際にはそう単純なものではないという発見をさせたい。

活動：「三つの国」

あまり客観的ではないが、いわゆる“旧西側”“旧東側”“民族主義”の、ステレオタイプのモデル。それぞれを比較する。

三つの国の状況を読む。各自で、自分は何の国へ行きたいか考えて、合図と共に移動する。

<ランブータン国>

「国民すべてに、職業・同じ程度の収入と、医療等の保証をする」ことを最大目標としている。あまり流動的だとその目標が果たしにくいので、住む場所や職業は役所と相談して決めることになる。それを後から変えることは難しい。怪我などで働けなくなった際は手厚い保護があるぶん、ふだんの収入は低い。

<マンガスティン国>

政府は「国民の活動のじゃまをしない」という基本方針である。進学や職業選択などもすべて自分で決められるし、社会的に成功すればその成果・利益は大きい。一方で、政府に予算の余裕がなく、社会保障の限界があり、貧富の差が広がっている。

<ドリアン国>

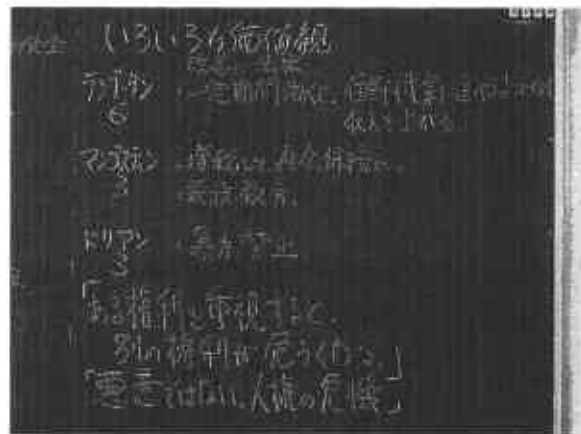
「同一民族のみで国を作る」ことが最善であるとして、分裂して小さな国を作った。強い仲間意識があり助け合いの雰囲気満ちている。そのぶん、伝統的な考えや行動と異なることをすると、団結を乱すものとして風当たりが強い。

(5)

まずは、なぜその国を選んだかを言ってもらおう。

次に、三つとも、ある権利を特に大切にしたいために、他の権利が軽視されている例であることを話して、それでは、それぞれをもっと良い国にするにはどういう法律を作るべきかを各国で考え、発表する。

権利について考える際に重要な点は、「権利を侵害する悪い人と、侵害される被害者」というステレオタイプで考えると本質を見誤るということである。問題が発生した場面で、悪者を探すという姿勢で考え始めてしまうと、際限ない自己肯定・他者否定に走ってしまい、いつまでも解決のしようがなくなる状態がよく見られる。現実社会の問題が、しばしば権利と権利の衝突によるものであって、悪者がいるせいとは限らないことを理解させたい。



授業者のふりかえり：

オークション形式で権利を扱うのに生徒がどう反応するか不安を感じていたが、意外にノリが良かったので、ほっとした。ただ、ハンマーを叩きながら主導する役（オークショニアと言うらしいが）がおもしろくそれらしくやるという演技力も、ある程度関わってくる。権利という重大な問題はもっと真面目に扱うべきだと考える人もいるだろうが、とにかく陰気に、そして多様な意見の出しにくくなりがちな分野であることを考慮すれば、なかなか貴重なアクティビティと思われる。

(配布プリント)

() 月 () 日

1) 「オークション」 リスト

* 欲しいものの記号の前に、○をつけておきましょう。

(あ) スポーツ万能
(い) 幸せな家族
(う) 信じられる友人
(え) リーダーシップ
(お) 芸術的才能
(か) 勉強好き
(き) 健康
(く) お金持ち
(け) 学校の成績がいい
(こ) 好きな職業を選べる
(さ) 好きな所で暮らす
(し) 容姿端麗
(す) 立ち直りが早い
(せ) 他の人を愛する
(そ) 他の人から愛される
(た) 大勢友人を作る
(ち) 世界を少し平和にできる
(つ) 家族に信頼される
(て) 自分を好きになれる
(と) 人前で上手に話せる

(な) ただ働きさせられない
(に) 家族と引き離されない
(ぬ) 暴力をふるわれない
(ね) 無実の罪をきせられない
(の) 誘拐されない
(は) 不公平な裁判をされない
(ひ) 他の人より権利を減らされない
(ふ) 意見を言っても危険でない
(へ) 根拠のないデマを流されない
(ほ) 盗聴・盗撮されない
(ま) 宗教・思想を強制されない
(み) 病気等の際、放っておかれない
(む) 飢えない
(め) 教育の機会を奪われない
(も) 遊ぶゆとりを奪われない
(や) 暴力的に威されない

2) 購入したいものを、書いておきましょう。

記号 買った値段

・ () ()
・ () ()
・ () ()

3) ひとつおりの終わった後、意外に感じたことがあったら書きましょう。(予想外に人気が高かった・低かったもの、など)

学年末プロジェクト「よそ国」

来週以降の学年末プロジェクト「よそ国」の第一段階で、カードを引く。

- 1) 説明のプリントを配り、説明する。
- 2) 行き先国カードを引く。
- 3) 下調べ用シートを配り、それは宿題となる。次週は、それを各自が発表することを予告しておく。

『よそ国』 国際理解教材としてのゲーム (基本の展開例)

〔各種のカードセットを用意する〕

「行き先」カードのセット

「入国目的」カードのセット

「アクシデント」カードのセット (これは、オプション)

「人生の転機」カードのセット (これも、オプション)

〔1〕ブレイン・ストーミング

まず初めに、一学期の最初にも触れた、「日本人らしさって何だろう？」というテーマで、ブレイン・ストーミングをする。その結果をまとめておく。

〔2〕「外国へ行こう!!」バーチャル世界旅行

(1) 「行き先」カードを引く。そこで引き当てた国や地域へ、日本から出掛けていくことになる。

手順:

- 1) 国の調べ方を考える。

行き先の国を調べるといったときに、どんな項目が挙げられるかを皆で考えてリストを作る。

行き詰まるかも知れないので、その際には、何種類か国について紹介している資料を用意しておき、そこにはどういう項目が出ているかを調べてみる。

- 2) 行き先カードを引く。

自分が行くことになる場所が決まる。

- 3) できたリストを元に、来週はその国の基本情報について発表することにする。

それに備えて、各自が調べて (必要ならば原稿も用意して) くる。

最終的には、全員分のものをひとつにまとめてきれいなカラーの冊子を作る。

また、今回は、各自が調べてきたことを利用して、一歩先へ進み、「目的カード」を引いて、それにあわせた準備を考える。

(2) 「日本からの出国目的」カードを引く。先に引いた土地で何をするかが、決まる。

(3) 引いたカードの目的にあわせて、調査をする。

- ・どこにある、どんなところなのか。
- ・入国手段や交通状態は、どうなっているか。
- ・「目的」を順調に果たすためには、何が必要か。
- ・日本で、どんな事前準備をしなくてはならないか。

進展状態を見て、調べ方や考え方のアドバイスをしたり、
「アクシデント」カードを引かせたりする。

(4) 目的にあわせた生活をする上で必要なことを、衣・食・住などについて調べていく。

(5) 報告。

これは、創作活動。「現地から、日本の友人や家族への手紙を出す。その内容は、相手を現地へ呼び寄せるものとする。」という設定。紙とは限らず、e-mail だったりビデオ・レターだったり、さまざまなパターンが考えられるだろう。

〔3〕最後に、全体のまとめ。

たとえば、ゲストを招くなどして、現実社会の困難や問題についてより深く学んだり、もう一度、最初の問い「日本って何だろう?」「日本人って何だろう?」を皆で考えてみたり、という方法があるだろう。

<参考>

「行き先」(「出身国」)カードのセット

地域、宗教、その他の要素が、なるべく片寄らないようにしておく。

「日本からの出国目的」カードのセット

職業、趣味、その他、これも多様なものを用意したい。

各種カード

「行き先」カード 例

ネパール・ラオス・スリランカ・トルコ・ハンガリー・デンマーク・ケニア・マダガスカル・南アフリカ・セネガル・ルクセンブルク・ポルトガル・キューバ・ウルグアイ・コスタリカ・フィジー・

「日本からの出国目的」カード 例

野性生物の生態調査・農水産物の買いつけで出張・テレビ局の取材・結婚式のため（相手はその国の人）・友人の結婚式のため・旅行中の親がその地で病気になった・旅行中の家族がその地で交通事故にあった・日本語教師として働く・現地の大学へ留学・サッカーチームで遠征・コンサートツアーのバンドのマネージャー・食べ物雑誌の取材・日本舞踊の先生として招かれた・その国に住む高名な武道家と勝負したい・現地の音楽を学びたい・

<生徒のコメント>

11月14日

1. 権利がお互いにぶつかりあうことについて、印象に残ったことや考えたことを書きましょう。

- ・ある権利を重視することによって別の問題が生まれるなら、重視できないと思ったし、全部フツウにするしかないと思った。
- ・互いにたいへんな思いをして作られた権利なのと思う。
- ・権利を重視すると別の権利が危うくなるという言葉に深い共感を得た。
- ・皆同じ人間なので欲しいものは皆同じなんだと思った。
- ・ぶつかる事とぶつからない事が半々だった。大切なことが皆違うけど、ぶつかった権利は高額になるまで続いて、2コしか代えなくても買うというのは、その人にとってすごく大切な事なんだと思った。
- ・争いが生まれると思いました。
- ・人によって欲しい権利が変わってくるのだと分かりました。回りの人々が平等の権利を持てないのかと、考えられました。
- ・ある権利を重視すると、他の権利が危うくなるということが分かった。

2. その他、今日の授業で感じたことを書きましょう。

- ・オークションおもしろかった。
- ・国によっていろいろあるんだと思った。
- ・国それぞれに利点があり欠点があるんだと。
- ・最高額 990 両で権利を買った人もいたし、その権利をいらないと思った人もいて、皆がみんな1番大切だという権利は同じではない。逆に誰もいらないと思った権利もあった。
- ・権利を得ることは大変だと思いました。
- ・内容が難しかったけど、権利といったものは何の為にあるのかなど、色々と考えられたのでとても良かったと思います。
- ・様々な権利の大切さを感じた。

3. 自分が、能動的に参加して考えることができたでしょうか？ 良かったところ、悪かったところは、どういうところでしたか。 自己分析・評価しましょう。

自己採点： ____点（10点満点で）

理由：

- ・（10点）参加していたし、考えた。
- ・（8）宿題忘れた。
- ・（8）真面目にやったから。
- ・（7）今日もいつもながらがんばったけど宿題忘れたから。
- ・（8）権利を取りに行く時、ちょっと、ちゅうちょしたのが、心残りです。
- ・（9）自分の意見をしっかりと持つことができました。しかしあまり発言することが出来なかったので-1です。（>_<）
- ・（9）意見が言えた。

4. 今回の授業の、テーマ選び・展開のしかたなどで、問題点があるとすれば、どういうところでしょうか。 分析・評価しましょう。

授業採点： ____点（10点満点で）

理由：

- ・（8点）おもしろかったけど、オークションと三つの国のつながりがはっきり見えなかった。
- ・（6）
- ・（8）オークションがおもしろい。
- ・（9）国や人々の欲しいものについて考えることができた。
- ・オークションで、今日の自分に欲しいもの＝足りないもの（特に右）か、それとも、今は関係なく欲しいものか、どちらかがわからなかった。
- ・（8）特に問題ないと思います。
- ・（10）難しい内容だったけど色々と考えさせてもらいました。他の人の価値観なども知れたので楽しかったです。
- ・（10）「権利」というとても大切なことがテーマになっていて良かった。

第二十回 11月21日

今回は、自分の担当国を調べることと、コンピューターの使用に慣れることが目標。

手順の予定としては、

<1>

1. 文書作成ソフト「一太郎」を開く。
2. まず、自分の名前を打って、それを各自のフロッピーディスクに保存する。
3. 各自が調べてきた各国の基本情報を、順番に打ち込んでいく。

<2>

上記を打ち込み終わった人は、

4. インターネットで、更に各国の詳しい情報を探る。
5. そのなかで、良いホームページのアドレスを切り取って保存しておく。

<3>

全員が基本情報を打ち込み終わったら、

6. 各国へ行く「目的カード」を一枚ずつ引く。
7. 自分の目的にあわせて、どういう事柄を調べるとよいのかを考える。
8. インターネットで調べて、面白いと思ったホームページのアドレスを切り取って保存する。

コンピューターへの慣れぐあいは個人差が大きいので、上記の8番まで進まなくてもかまわない。コンピューターに慣れることが目的。

- ・キーボードの打ち方
 - ・保存のしかた
 - ・マウスの使い方
 - ・アドレスの切り取り方
- これらを教える機会にする。



(配布プリント)

国際理解

プロジェクト『よそ国』・・・基本情報・・・

今日は、自分の担当国を調べることとコンピューターの使用に慣れることが目標です。

< 1 >

1. 文書作成ソフト「一太郎」を開く。
2. まず、自分の名前を打って、それを各自のフロッピーディスクに保存する。
3. 各自が調べてきた各国の基本情報を、順番に打ち込んでいく。

< 2 >

上記を打ち込み終わった人は、

4. インターネットで、更に各国の詳しい情報を探る。
5. そのなかで、良いホームページのアドレスを切り取って保存しておく。

< 3 >

全員が基本情報を打ち込み終わったら、

6. 各国へ行く「目的カード」を一枚ずつ引く。
7. 自分の目的にあわせて、どういう事柄を調べるとよいのかを考える。
8. インターネットで調べて、面白いと思ったホームページのアドレスを切り取って保存する。

コンピューターへの慣れぐあいは個人差がありますので、今日は、上記の8番まで進まなくてもかまわないと考えています。

<生徒のコメント>

今日の授業で、印象に残ったことや深く考えたことを書きましょう。

- ・インターネットを使うことによって、自分が調べてきたこと以外に、たくさんの情報が集められて良かった。
- ・今日のコンピューターの授業は楽しかった。インターネットだとすぐに最新の情報が入るから楽しかった。国王と王妃がみれてよかった。ネパールは治安が心配されていたが、情勢も安定ということでもよかった。
- ・寒かった。PCは簡単だけど、壊れるとやっかいだと思う。
- ・パソコン難しい。デンマークで検索しただけで1090件もあった。これだけ多く関わってるんだなあと思った。
- ・打つことが多くて、全部打てなかった。ラオス大使館で調べたらいっぱい情報が出てきた。
- ・今日の授業はずっとパソコンをやっていました。こういう授業も悪くはないなと思いました。
- ・画面が出なかったりして大変だったけどPCは楽しかった。

2. 自分が、能動的に参加して考えることができたでしょうか？ 良かったところ、悪かったところは、どういうところでしたか。 自己分析・評価しましょう。

自己採点：____点（10点満点で）

理由：

- ・（10点）今日は、集中して作業ができて、とても楽しかったと思う。
- ・（8）橋本龍太郎さんがネパール通ということで、そのホームページを見たらとても楽しかった。いろいろ知ることができた。
- ・（8）PCは得意だから良かった。
- ・（10）パソコンあまりやったことないけど、けっこうがんばったと思う。
- ・（8）コンピューターが使えないのが多かったのと、打つのが遅かったのであまり打てなかった。
- ・（7）パソコンの調子が悪くて、あまり作業が進みませんでした。
- ・（10）集中してできた。

3. 今回の授業の、テーマ選び・展開のしかたなどで、問題点があるとすれば、どういふところでしょうか。 分析・評価しましょう。

授業採点：____点（10点満点で）

理由：

- ・（10点）今までの授業とは違って、パソコンを使うことができて良かった。
- ・（5）できる人とできない人との進み方が同時進行だと、できる人はつまんない。

- ・(9) 国を理解できた。
- ・(8) 次回もがんばりたいです。
- ・(10) ふつうの授業よりパソコンの方がたのしい。でも、サムイ・・・

授業者のふりかえり：

生徒のパソコンへの慣れぐあいはバラバラなので、ある程度手伝いが必要である。しかし、パソコンを使うことは、将来に役立つという技術的利点の他に、記録集が自分たちで作れる（三年生なので卒業記念にもなる）などの楽しみもある。

一年間の最後のプロジェクトとして、創作課題を持ってきたことには理由がある。外国語を学ぶ際には、input（聞く・読む）だけでは不十分で、output（話す・書く）によって言葉の諸規則が真に内面化されると考えられている。これは、他のことであっても同じなのではないだろうか。したがって、今まで学んできたことを生徒たちが利用していく場として、創作旅行記を課題とした。そのなかで、“真っ当な・人として望ましい姿勢”で生きてみてほしい。

第二十一回 11月28日

世界の諸問題について、おおまかに触れてきた。それに対して、世界の人々が、実際にどのように良くしようと努力しているのかを知る授業にしたい。今回は「調べて、まとめる」という作業が主になるが、これは、継続中の「よそ国」の課題を作っていく際に必要な技術の練習という目的も兼ねている。

活動：「権利」

(1)

全員に、ひとつの質問を出す。

質問「言論の自由は、最も基本的な権利のひとつであり、制限を受けるべきではない。」

大賛成++、まあ賛成+、どちらともいえないなら△、まあ反対-、大反対--、という5種類のどれかを選ぶ。

印の順に、並ぶ。



時計回りに、++から並んでいく

(2)

次に、自分と二段階以上異なっている相手と、ふたり一組になる。次に、自分がなぜそう思うかを相手に語る。できるだけ、相手を自分の意見に近づけるように努力する。

様子を見て、時間で区切り次の相手と組んで繰り返していく。

(3)

あらためて、全員に今はどう思うか5段階から選んでもらう。変わった人がいたら、その理由を話してもらう。

「言論の自由を制限すべき」側の根拠としては、

- ・ 事実と反することや悪いことも、世の中に流れてしまう
- ・ デマやでっち上げの被害者が出る（人権侵害）

「言論の自由を保障すべき」側の根拠としては、

- ・ 事実と反することや悪いことが流れたとき、それをうち消す言論が不可欠である
- ・ 人権侵害の被害者本人による言論の機会を保障しなくてはならない

上記のように、言論の自由という基本的な権利でも、どちらを取ればいいのか簡単には決められない問題がある。

しばしば、ひとつの権利が他の権利と矛盾しているような場合もある。権利という、一見あればあるほどいいように思えることでも、いろいろな意見が存在することに気づいて欲しい。ひとつの権利というものが必ずしも100%満たされるというものでない現実を意識した上で、次へ進む。

(4)

来週の準備として、「外国へ行く目的カード」を引く。そして、それにあわせて必要となる調査項目を考える。それを埋めてくることが、次回への各自の課題となる。

<生徒のコメント>

1. 今日の授業で、印象に残ったことや深く考えたことを書きましょう。

・人によって考え方が違うので相手の意見を考えつつ、自分の意見を言うのが難しかったです。

・討論なのが楽しかったです。

・言論の自由というのは、あっていいと思うけど、個人を傷つけたりするのは、マナーとしてダメだと思いました。マスコミとかは、人々に色々な情報を提供しているけど+と-が激しく、それを知っていないとひがいにあう人が多くなってしまうと思いました。

・何かを自由にさせると、何かの暴力が生まれ、何かを定めると何かきゅうくつに思えるのが何とも・・・

・言論の自由は日本ではあるけど、それによって傷つく人もいるのは問題だと思った。人の意見を聞くのは大切だと思ったけど賛成派・反対派両方の意見を聞かなきゃと思った。

・「言論の自由」について、話し合った授業は、相手の意見を聞くことができたので私は良かったと思う。

・言論の自由について深く考えさせられた。

・一つの権利を、主張、保護することによって、他の権利とぶつかってしまうことがある、ということ。

2. 自分が、能動的に参加して考えることができたでしょうか？ 良かったところ、悪かったところは、どういうところでしたか。 自己分析・評価しましょう。

自己採点：___点（10点満点で）

理由：

・（10点）自分の意見をしっかりと持ち、発言することができました。相手の意見を受け入れることもでき、さまざまな考え方を聞くことができました。

・（8）積極的に参加できたと思います。

・（9）能動的でした。自分なりの意見を言えたんで。

・（9）発言した。協力した。

・（9）

・（10）真面目にやった。

・（6）意見、考えが言えた。

3. 今回の授業の、テーマ選び・展開のしかたなどで、問題点があるとするれば、どういふところでしょうか。 分析・評価しましょう。

授業採点：___点（10点満点で）

理由：

- ・（9点）もう少し色々な人の意見を聞きたかったです。
- ・（9）ちょっとしらべ物をする時間が少なかったです。
- ・（8）今日も何かと考えさせてくれる問題でした。
- ・（9）
- ・（5）いまいちだった。
- ・（8）「権利」というのは難しいテーマだと思うけれど、とても大切なことなので、いろいろ考える必要があると思った。

授業者のふりかえり：

実際の世の中では、迷うこと、何が正しいのかわからないことが、少なくない。そのような場面で、実際にどう解決をはかっていくかという技術も大切だが、それだけではなく、迷ったり悩んだり、意見を変えたりすることを、肯定的にとらえられる心も同じように大切だろう。それらに否定的であると、最初から自分で考えることをやめてしまったり、その結果、単に何かの権威に付き従うだけの無責任な姿勢に流れたりする恐れがある。

結果を出す技術に焦点を当てるならば、ディベートもありえるだろうが、その場合は最初に自分の答えが決まっている。今回は、結果は未定で各自に自由にまかせられた状況の難しさを体験することを重視していた。そのために、なるべく迷うような題を選んだつもりでもある。このような内容になってくると、つい教員の悪癖としてよけいなことを説明したくなるが、それをやってしまうと、自分で迷ったという記憶が残らない。上手に黙っていることが求められるところだろう。

第二十二回 12月12日

今日は一時間だけなので、調べてきた「目的に合わせた調査」を打ち込むことにする。

例として、「コスタリカに、日本舞踊の先生として行く」場合。

コスタリカのナショナル大学芸術研究教育 普及センターに招かれて行く。

期間は、ほぼ一ヶ月。時期は、リモン市でおこなわれるカーニバルにも出演するため、10月。雨期にあたるので、その用意も必要。

自分自身は、狂言師。舞い手は、自分ともうひとり。囃子手3人、舞台設営や小道具の担当が2人、通訳1人。

現地でおこなうこと：

- ・日本の伝統舞踊について、専門家対象に講演。
- ・狂言の実演。
- ・現地の舞踏家と交流、技術の交換。
- ・現地の音楽家と競演の予定。三週間ほどの準備をかけて、作り上げていく。
その成果を持って、数カ所の催しに出演。
- ・首都サンホセの国立劇場 ・リモンのカーニバル

第二十三回 12月19日

今日も一時間だけなので、パソコン室で打ち込みを進める。

途中で、生徒たちに自分の調べたことを発表させた。お互いに聞きあって、アイデアをもらうように指示した。

<生徒のコメント>

他の人の調査を聞いて、取り入れたいこと

- ・どの時期にネパールを訪れるのか。お金など。まだ調べることがいっぱいだった。
- ・風習。
- ・服装。
- ・航空経路。
- ・通訳。
- ・風土や気候など。
- ・こまかいことをいろいろ調べてみることに。
- ・その土地の習慣は大切だと思った。
- ・ストーリーをもっと考えておかないといけないと思った。
- ・自分は調べるのを忘れてしまっていたので、ダメでした。

<今日のふり振り返り>

1. 他の人に役立てたか

- ・役立ったと思うが、私はあまり言えなかった。
- ・できなかった。
- ・う〜ん？
- ・少しできたと思う。
- ・できなかった。
- ・やってくることを忘れたのでムリでした。
- ・わすれたからできなかった。
- ・野生生物のことが調べてもわからなくて、服そうや行く時期程度しかいえなかった。

2. 能動的に参加して考えることができたか

- ・(8/9点) コンピューターに一生懸命だったので、まじめにやったと思う。
- ・(2) 遅刻したし課題やってなかった。
- ・(7) あまり調べられなかった。武道かを調べるのはむずかしい。
- ・(10) 授業に参加し、発表できた。
- ・(5) あまりまともにできなかった。

- ・(5) 忘れてきたけれどファイル内をまとめることができた。
- ・(10) 積極的に調べられた。
- ・場所のことをまだわからないので、あまり考えられない。
- ・(7) 調べるのを忘れたので、ダメでした。
- ・(9) パソコンが無くて使い方が・・・遅いので・・・(>_<)

3. 授業のテーマ選び、展開のしかたの問題点

- ・もっとパソコンをやりたいと思った。
- ・(6点) パソコンは得意だから好き。でも、インターネットできないPCはやだ。
- ・(10) パソコンバンザイ。
- ・(9) パソコンが使えて良かった。
- ・(10) おもしろい。
- ・(10) 特にないです。
- ・パソコンでいろいろしらべるのはたのしい。
- ・(6) あまり進みませんでした。
- ・(9) パソコンが初めて使えたので嬉しいです。

(配布プリント)

「国際理解」

冬の課題

自分の、旅のストーリーを作りましょう。

- ・準備は？
- ・ルートは？ 人は？
- ・何をする？
- ・どんな出来事が起こる？
- ・エンディングは？

今日は、家にコンピューターがあればフロッピーを持ち帰って、なければこれまでに作ったぶんを印刷して持ち帰って、冬休みの間にストーリーを作りましょう。(フロッピーを持ち帰る人は、バックアップを取っておきます)

重要なこととして、

(1) 参考にした本やホームページのデータを、残しておきましょう。文章の最後に、そのリストをつけます。

(2) 地図や写真で、これは自分の作品に貼り付けたいと思うものを探しておきましょう。本から、学校のスキャナーで読み込むことができます。ひとりあたり、フロッピー1枚に入るくらいの容量までならかまいません。

二学期末 アンケート

三年生 選択「国際理解」

() 組 () 番 氏名 ()

〈A〉二学期の授業を通しての感想を書いてください。

〈B〉自分で、以下の項目について評価をしましょう。

1. 二学期をふり返って、授業への集中力はありましたか。

自分が、能動的に参加して考えることができたでしょうか。

自己分析・評価しましょう。 自己採点：____点（10点満点で）

・判断の根拠は、何ですか？ なるべく具体的に書きましょう。

2. 一学期をふり返って、授業で十分に努力はできたでしょうか。

良かったところ、悪かったところは、どういうところでしたか。

自己分析・評価しましょう。 自己採点：____点（10点満点で）

・判断の根拠は、何ですか？ なるべく具体的に書きましょう。

3. 総合的に、自分で自分に成績をつけるとしたら、何点ですか？

自己採点：____点（10点満点で）

・判断の根拠は、何ですか？ なるべく具体的に書きましょう。

<生徒のコメント>

<A>二学期の授業を通しての感想を書いてください。

- ・ 2学期の授業も色々な国のあり方などを見てきましたが、日本と比べてみて、おどろいたり、考えたりする場面がいくつもあり、本当に勉強になりました。
- ・ いろいろな授業を通して、今、世界はどのようなになっているかや、日本と世界の常識のちがいなどがよくわかり、大学の推薦入試にとっても役に立ちました。
- ・ むずかしかった。それは、わからないからとかじゃなくて、考えた事が無かった事や、他の授業ではやった事がなかった事だったからだと思う。楽しかった。色々な発見があって、いろんな考え方を知ったから。
- ・ パソコンはいいけどいろいろしらべるのがめんどくさかった。
- ・ この授業により普段考えることのないことを考えてみたり、話し合えたのでよかったと思う。今、こうしている瞬間にも授業でやったような問題がおきているのだから、皆で考えて答えを出さなければならないと思う。
- ・ 確かに国際理解だなというのが、やってきてわかりました。初めは、知らない人と話すのはむりだと思いましたが、やっていくうちにみんなの意見も授業を通してわかったので良かったと思いました。
- ・ コンピューターの授業はたのしかった。
- ・ 必修科目と違って変わった授業形態だったので結構おもしろかったです。
- ・ 二学期も、国際理解の授業では、他の授業とは違った事ができて良かった。後半の方は、パソコンを使った授業ができて、とても良かった。

自分で、以下の項目について評価をしましょう。

1. 二学期をふり返って、授業への集中力はありましたか。

自分が、能動的に参加して考えることができたでしょうか。

自己分析・評価しましょう。

自己採点：____点(10点満点で)

判断の根拠は、何ですか？ なるべく具体的に書きましょう。

- ・ (9点) 自分の思ったことはほぼ伝えることができましたし、相手の意見も聞くことができました。つごうにより一回だけ休んでしまったので -1 です(>_<)
- ・ (8) ふざけることなくマジメに授業を、楽しんで受けれたからです。
- ・ (6) 人の意見を聞いて、自分で理解して話すのが遅いと思う。あんまり、難しい事が言えなかった。
- ・ (5)
- ・ (7) 授業には超積極的だったが、「よそ国」ってやつが全くわからん、っていうかできん。
- ・ (9) 物事についてちゃんと考えられたし、初めて知ったことについても授業で考え、意見ものべられたと思います。世界の現状を知る機会にもなりました。
- ・ (9) 意見をだした。

- ・(5) 集中してるときもあれば集中してない時もあったから。
- ・(8) 自分の意見、考えを言うことができたと思う。

2. 一学期をふり返って、授業で十分に努力はできたでしょうか。

良かったところ、悪かったところは、どういうところでしたか。

自己分析・評価しましょう。

自己採点：____点(10点満点で)

判断の根拠は、何ですか？ なるべく具体的に書きましょう。

- ・(9) 数少ない資料から南アフリカについて一生懸命調べました。キーボードを打つのが遅くてうまく進めることができなかったの -1 (>_<)
- ・(7) 宿題などを忘れてしまったことがあるからです。
- ・(6) 地理は苦手。
- ・(10) 鈍くさいながらも努力のみでいうなら十二分に評価できるくらいでしたから。
- ・(8) 絵本からでてくる主人公などの特徴を挙げなさいと言われた時、よくわかりませんでした。ちょっとその時は集中力がなくなっただと思います。でも世界は国によってやっぱり考え方がちがうので楽しかった。
- ・(10) 意見を十分にいったから。
- ・(4) あまり授業にでてなかった。
- ・(8) 自分から進んで授業に参加できたと思う。(レポートなどで)

3. 総合的に、自分で自分に成績をつけるとしたら、何点ですか？

自己採点：____点(10点満点で)

判断の根拠は、何ですか？ なるべく具体的に書きましょう。

- ・(9) 自分なりに頑張りました。世界の色々な事について学べたことが何よりも嬉しいです。楽しめました。
- ・(8) 少しミスもありましたが全体的に見て真剣に取り組めたと思うからです。
- ・(5)
- ・(5) ねむかったり、めんどくさかったから、ちゃんとやってなかった。
- ・(8) 自分の考えることを言えるのは我ながらすごいと思う。
- ・(9) コンピューターをやる前に、「～制限すべきではない」という権利の話で話し合ったことはよかったです。人がそれについてどう思っているのかというのはこういう場をもって話しあったのは“ため”になりました。
- ・(9)
- ・(7) 最後の方はそこそこまじめにやったから。
- ・(8) 自分では進んで参加したつもりなので。